



平成30年3月9日  
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構  
バックエンド研究開発部門  
人形峠環境技術センター

## 第6回「ウランと環境研究懇話会」の開催について（お知らせ）

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（理事長 児玉敏雄）人形峠環境技術センターでは、平成28年12月21日に今後の事業計画案として「ウランと環境研究プラットフォーム」構想を公表しました。

この構想を進めるにあたっては、研究開発活動の効率化・活性化、研究開発活動を通じた地域共生、研究開発活動の安全・安心等の視点から御意見・御提言を頂き、研究開発の信頼性・透明性を確保するため、外部の専門家等で構成する「ウランと環境研究懇話会」を設置し、昨年6月から12月まで5回にわたり開催してきました。

第5回懇話会において、「立地地域等と連携したうえで、施設の安全対策を講じてリスクの低減や環境保全へ取り組むといった、原子力機構人形峠環境技術センターに、将来にわたって与えられた役割を着実かつ安全に果たしてもらうためには、「ウランと環境研究プラットフォーム」構想に示された研究開発を着実に進めることは適切である。」という懇話会としての認識をまとめて頂いたところです。

この懇話会としての認識のまとめを「ウランと環境研究プラットフォーム」構想に反映したものについて報告するため、第6回「ウランと環境研究懇話会」を下記のとおり開催いたしますのでお知らせいたします。

### 記

- 日 時 平成30年3月20日（火） 9：30～12：00
- 場 所 鏡野町ペスタロッヂ館夢ホール
- 委 員 ウランと環境研究に関する専門家、地域住民の代表者等の方々
- その他 本懇話会は自由闊達な御意見・御提言を頂くため、原則非公開で開催いたします。懇話会で使用した資料や議事概要は、懇話会終了後に人形峠環境技術センターのホームページで公表いたします。

以 上